

園だより



駿河台大学第一幼稚園
3月

毎年迎えるこの節目の時。

小学校に入学する年長さんへのはなむけの言葉と進級する年少さんや年中さんへの励ましの言葉を伝えたい日々になりました。各組に、あと2週間のカウントダウンカレンダーと共に園の教育目標にある子どもの姿が確認できるような手紙を渡してきました。



大人が思う以上に、子どもたちにとって進級や入学は未知のことで想像しにくく、不安と期待を行ったり来たりしながら乗り越えていくのだと思います。

幼稚園でのこれまでの経験を活かして、楽しいことを見つけるセンサー発揮となればよいなど応援する気持ちでいます。

先日、八雲台小学校からご招待をいただき、年長組が一年生に昔遊びを教えてもらってきました。数ある遊びの中で、園で遊んでいるコマ回しから取り組んだ子どもが多かったようです。帰ってきてから、小さい子どもたちへのかかわり方が背中にそっと手を添えてのぞく様に語り掛けていて、優しくされた行動は、されたように自然に動きとなって出てくるものだと思えました。

年中組が遠足でプラネタリウムに行きましたが、進行する方の話をよく聞き、積極的に聞かれたことに答えたり集中して観察したりと、いい時間を過ごせました。どんなことにも興味と関心を全開にして楽しむ姿が嬉しい遠足でした。

年少組最後の遠足は井の頭動物公園でした。動物に会えるのが楽しくて仕方ないというバスの中でしたが、空の雲を探したり、「梅を見つけたら教えてね」と言う先生の声掛けに、一生懸命外を見て、見つけた時の嬉しい声や「ほんとだー」と共感する声が素敵な時間でした。動物の様子もよく見ていて楽しむ様子があり、何をしに来たのかをよくわかっていて成長を実感することができました。

また、PTAのいちょう会から進級祝いにいただく色鉛筆やその他の画材は、子どもたちの「描く楽しみ」を広げてくれました。謝恩会ではサッカーゴールなどを購入いただきました。いちょう会から様々な支援をいただき、ありがとうございました。残り少ない3月の保育ですが、大切な締めくくりの日々です。楽しめますように。